

## 授業科目 臨床血液学 II

【担当教員名】  大山 富三		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：G10】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>血液疾患について、定義、分類、主症状、検査所見などを理解する。</li> <li>検査法については、臨床的意義を理解する。</li> <li>健常と異常時における検査所見の違いを理解する。</li> </ol>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>造血器とその異常について説明する。</li> <li>基準値を列挙する。</li> <li>疾患の成因、症状、病態を説明する。</li> <li>疾患の検査所見を列挙する。</li> <li>検査法と臨床的意義を説明する。</li> <li>検査結果から疾患を類推する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	造血器官と髄外造血			1	講義
2	赤血球の基準値と貧血の定義、一般症状、分類			2	講義
3	小球性貧血と検査結果			3-6	講義
4	正球性貧血と検査結果			3-6	講義
5	大球性貧血、赤血球増加症と検査結果			3-6	講義
6	白血球の基準値と白血球増加症、白血球減少症			2-6	講義
7	白血病と検査結果（1）			3-6	講義
8	白血病と検査結果（2）			3-6	講義
9	白血病と検査結果（3）			3-6	講義
10	白血球機能異常症と検査結果			3-6	講義
11	血小板の基準値と血小板増加症、血小板減少症			2-6	講義
12	血小板異常症と検査結果			3-6	講義
13	凝固因子異常症と検査結果（1）			2-6	講義
14	凝固因子異常症と検査結果（2）			2-6	講義
15	血管異常症、血栓症と検査結果			3-6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 血液検査学第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2010・5,400円+税
参考書		血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2005・9,000円+税
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 定期試験		【履修上の留意点】 疾患について学習するためには、基礎的な知識を理解しておくことが前提となるため、本講義前に臨床血液学Ⅰの内容を復習し理解しておくこと。また、本講義内容を復習し、不明な点は質問するなど早期に解決すること。さらに、血球の形態観察も必要となるため参考書（アトラス）を活用することを望む。			